



運動会で見せた子どもたちの成長

校長 齋藤 博敏

5月20日(土)雲一つない青空の下、運動会を実施することができました。当日は、人数制限なく、御家族、地域の方々に多数来校いただき、子どもたちの活躍する姿を御覧にいただくことができました。

4月中旬に応援団が決まり、それ以降、授業中はもちろん休み時間も惜しんで練習に励んできました。子どもたちは、“チーム団結 正々堂々 練習の成果を見せつけろ”のスローガンどおり、練習の成果を遺憾なく発揮し、最高のパフォーマンスを繰り広げることができたように思います。

今年度の運動会も、応援、競技等全力で取り組む子どもたちの姿に、私は幾度となく心を揺さぶられました。なかでもこれまでになく、心が大きく揺さぶられる場面がありました。



最後の応援合戦に臨む前に赤白各チームが全員で円陣を組んだ場面です。

これまでたくさんの運動会を計画・実施してきましたが、全員で円陣を組んだ場面を見たのは、記憶にありません。後で聞いた話ですが、この円陣は、応援担当教師の指導・指示ではなく、応援団長が、その場で思いつき、呼びかけて行ったようです。“本気”だったからこそ、自発的に行動できたのではないのでしょうか。話を聞いて、さらに熱いものがこみ上げてきました。

「あれやりなさい。これやりなさい」等、大人からの指示だけでは、子どもたちにとって、充実感・達成感を得られません。子どもたちは成長しません。自分で考え、行動し、やり遂げることで、初めて大きな充実感・達成感が得られるのです。そして、一回りも二回りも逞しく成長するのです。

運動会終了後、どの子も全力を尽くした後の清々しい表情をしていました。



6月は、全県民で取り組む

いじめ見逃しゼロ強調月間です。

いじめの未然防止、早期発見、即時対応に努めます。